

平成29年度 愛知県臨床検査 精度管理調査報告 細胞検査部門

精度管理部員 中根昌洋（医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院）

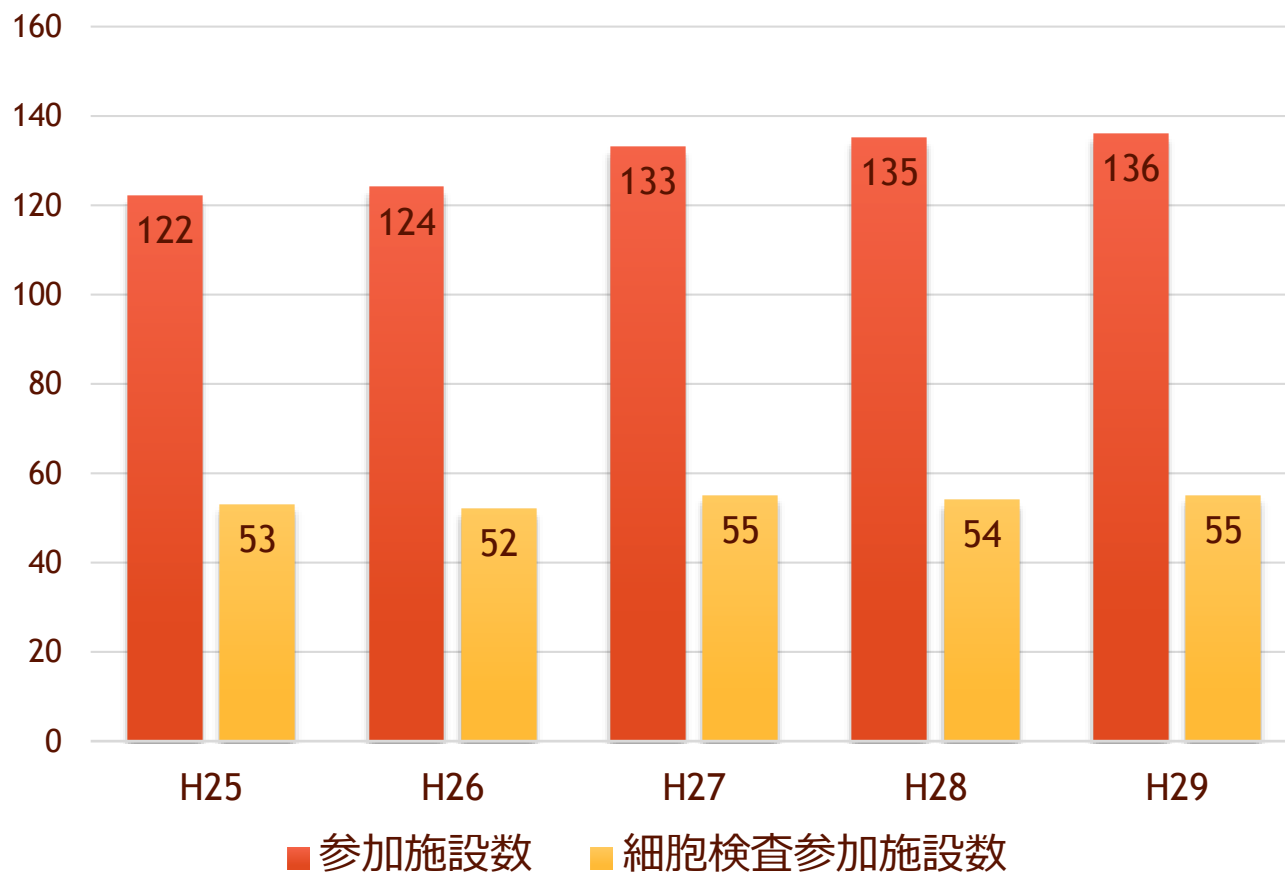
実務担当者 橋村正人（国家公務員共済組合連合会 名城病院）

吉本尚子（公立西知多総合病院）

北島聖晃（JA愛知厚生連 海南病院）

平成30年3月17日

参加施設の年次推移



平成29年度参加施設：55施設（昨年度より1施設増加）

調査対象項目と配布資料

フォトサーベイ 10設問

- ▶ 婦人科領域 3設問 画像7枚
- ▶ 呼吸器領域 2設問 画像4枚
- ▶ 消化器領域 1設問 画像2枚
- ▶ 泌尿器 1設問 画像2枚
- ▶ 甲状腺 1設問 画像3枚
- ▶ 体腔液 2設問 画像5枚

出題症例

設問	症例		正解
1	50歳代、女性、子宮腔部擦過	判定	NILM
		推定病変	濾胞性頸管炎
2	50歳代、女性、子宮腔部擦過	判定	HSIL
		推定病変	高度異形成
3	60歳代、女性、下腹部腫瘤	判定	陽性
		推定病変	癌肉腫
4	50歳代、男性、喀痰	判定	陰性
		推定病変	シャルコー・ライデン結晶
5	80歳代、男性、喀痰	判定	陽性
		推定病変	扁平上皮癌

出題症例

設問	症例		正解
6	60歳代、男性、臍超音波ガイド下穿刺	判定	陽性
		推定病変	腺癌
7	60歳代、男性、カテーテル尿	判定	陰性・良性細胞
		推定病変	良性尿路上皮細胞
8	40歳代、女性、甲状腺穿刺吸引	判定	良性
		推定病変	腺腫様甲状腺腫
9	80歳代、男性、胸水	判定	陽性
		推定病変	小細胞癌
10	70歳代、女性、腹水	判定	陽性
		推定病変	悪性リンパ腫

評価基準

- ▶ 判定と推定病変について正解を設定し評価を行った

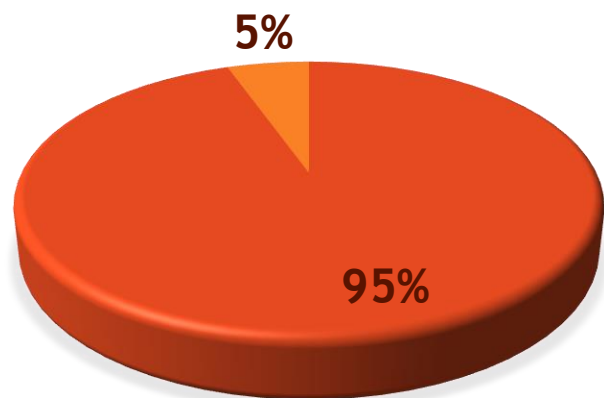
評価A	正解	「基準」を満たし、極めて優れている
評価B	許容範囲	「基準」を満たしているが、改善の余地あり
評価C	不正解	「基準」を満たしておらず、改善が必要
評価D	不正解	「基準」から極めて大きく逸脱し、早急な改善が必要

正解率

	判定 (%)	推定病変 (%)
設問1	100.0	100.0
設問2	100.0	100.0
設問3	100.0	96.4
設問4	100.0	100.0
設問5	100.0	100.0
設問6	100.0	94.5
設問7	100.0	100.0
設問8	96.4	96.4
設問9	100.0	100.0
設問10	100.0	100.0

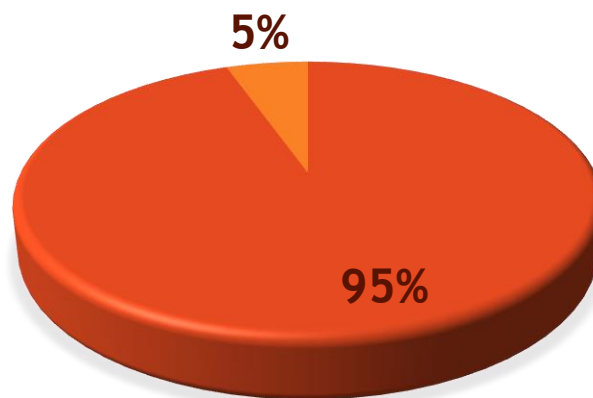
アンケート調査結果

設問の量



- 適切である
- 少ない
- 多い
- 未回答

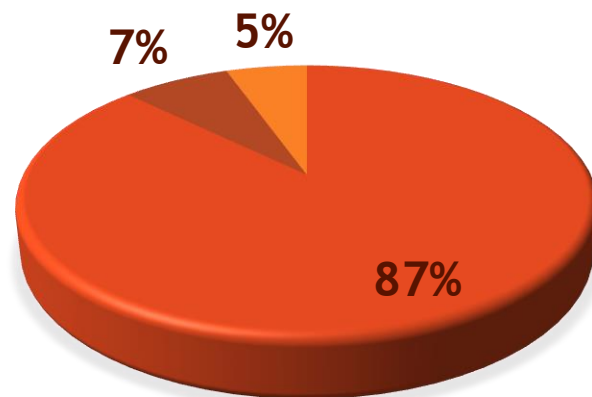
設問の難易度



- 適切である
- 容易である
- 難解である
- 未回答

アンケート調査結果

設問の内容



- 適切である
- 不適切だと感じた項目がある
- 未回答

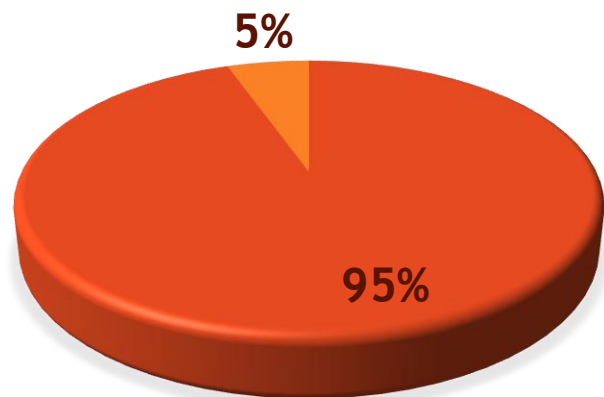
アンケート調査結果

不適切だと感じた理由

- ▶ 婦人科LBC標本が出題されたが、導入していない施設もまだ多い。また、標本作製方法によって細胞の見方が異なることも多い。
- ▶ 設問6（膵腺癌）の写真の枚数が少ない。2枚では不十分である。
- ▶ 設問8（腺腫様甲状腺腫）はコロイドの所見が乏しく、特徴的な所見が不足していると思われる。
- ▶ 当院ではLBCは採用していない。今後も予定はない。甲状腺ベセスダも泌尿器の新報告様式も使用してはいない。サーベイの設問に取り入れられても困る。

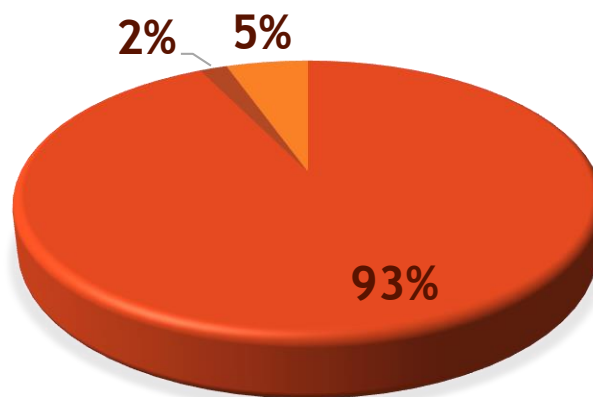
アンケート調査結果

システムの使用方法



- わかりやすかった
- わかりにくかった
- 未回答

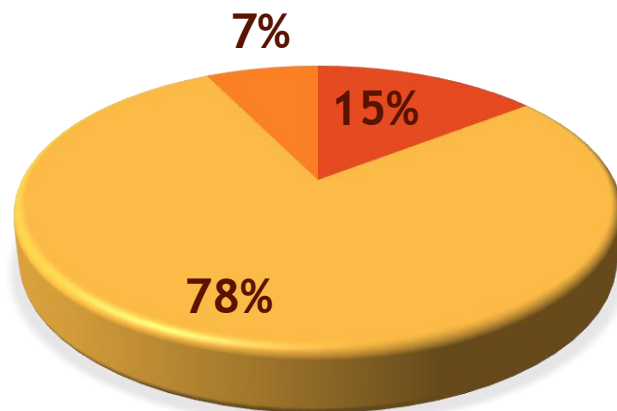
システムの操作性



- 良い
- 悪い
- 未回答

アンケート調査結果

昨年と比較して本年度のシステム



- 使いやすいになった
- 変わらない
- 使いにくくなった
- 未回答

アンケート調査結果

Web回答全般についてご意見、ご要望をお聞かせください

- ▶ 回答を選択したあと「設定」のほかに「保存して次へ」があり、次々と入力できるとなるとよい。

細胞検査部門まとめ

- ▶ 細胞検査における細胞の見方および所見の表現方法の統一化を目的とした精度管理調査を実施した
- ▶ 日常業務において鑑別が重要となる基礎的な症例を中心にフォトサーベイ形式にて出題した
- ▶ 判定および推定病変について回答を求め評価した
- ▶ 正解率は90%を超え、良好な成績であった
- ▶ 早急に改善が必要であると判断した施設には、精度管理調査結果検討会へ参加していただいた
- ▶ システムは操作にも慣れ、さらに快適なシステムへのレベルアップを求められている
- ▶ 参加施設にとって意義のある精度管理調査となるよう取り組んでいきたい

最後に

- ▶ ご多忙のなか、
本調査にご参加いただいた施設と
関係者各位に深謝致します